

課題

広葉樹優良林分を造成するための施業法

当試験地は、昭和60年度の立木処分箇所で、前生樹は林齢36年生の混交率100%の天然広葉樹林分で、クス・タブ・カシ類が75%と高く、高温多雨の海岸線に面した温暖地域で、傾斜も緩やかで、標高は150~160mの地点である。

昭和61年8月上記箇所を、芽かき実行区(A・B・Cブロック)と対照区に区分し、又隣接する昭和60年度植栽のクス造林地を加え試験地を設定し、《図-1》 Aブロックは2本仕立、Bブロックは3本仕立、Cブロックは4本仕立となるよう、芽かきによる本数調整を行った。《表-1》

なお、芽かき実行区については、調査に支障となる雑草の刈払を行った。

図-1

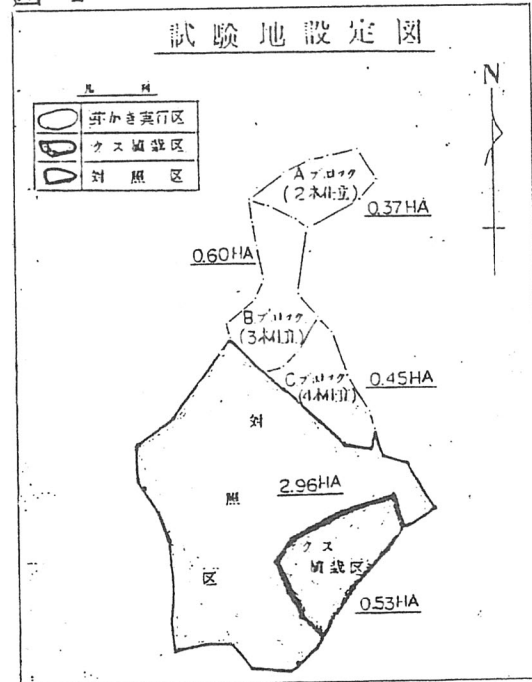


表-1

試験地の区分と調査			
	試験区	面積 (HA)	作業と調査
芽かき実行区	Aブロック 2本仕立区	0.37	・下刈の実行 ・75%等の有用広葉樹(株あたり)仕立本数2本に調整して芽かき
	Bブロック 3本仕立区	0.60	・ブロック毎の成長量調査(毎木調査) ・3本仕立
	Cブロック 4本仕立区	0.45	・芽かき後の素性の変化と罹病の観察 ・4本仕立
	小計	1.42	
	クス植栽区	0.53	・下刈の実行 ・61年3月に75%800本(1500本/ha)の有用広葉樹を61~63年下刈を実施して調査
	対照区	2.96	・標準地による成長量調査(30m ² ×6ヶ所)
	計	4.91	
調査対象樹種		クス・タブ・カシ・シイ・その他広葉樹	

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録(その2)

区分 任意

申問 営林署

(様式4)

昭和62年8月 A.B.Cブロックの、再発生ぼうがの芽かき および 調査に支障となる雑草の刈払を行い、対照区2.96HA内の6プロット(6×5m)について、クス・タブ・カシ類の根株各30本の径級調査とぼうが発生調査を行った。

昭和62年12月 各調査区の生長量調査 および 植生調査を行った。

昭和63年11月 各調査区の生長量調査 および 植生調査を行った。なお、施業工程は《表-3》のとおり。

平成元年1月 営林局業務研究発表会において、研究発表(中間)を行い、「営林局長賞」を受賞した。

平成元年10月 林野庁業務研究発表会において、研究発表(中間)を行い、「日本林業技術協会理事長賞」を受賞した。

平成元年12月 各調査区の生長量調査を行った。

平成2年11月 各調査区の成長量調査を行った。別紙《表-2》のとおり。

表-3

保 育 の 功 程											
試験区	面積	保 育								功 程 /HA	
		61年度		62年度		63年度		計			
		芽かき	下刈	芽かき	下刈	芽かき	下刈	芽かき	下刈		
Aブロック (2本仕立)	HA 0.37	人	人	人	人	人	人	人	人	人	13.2
Bブロック (3本仕立)	0.60	1.500	1.125	0.500	2.000	-	0	2.000	3.125	8.5	
Cブロック (4本仕立)	0.45	2.000	1.000	0.625	1.500	-	0	2.625	2.500	11.4	
計	1.42	5.000	3.125	2.000	5.000	-	0	7.000	8.125	10.7	
植栽区	0.53	-	3.875	-	4.750	-	3.125	-	11.750	22.2	

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録(その3)

区分 任意

申問

営林署

(様式4)

表-2 樹種別成長量調査

試験区	芽かき実行区											植栽区			対照区			摘要					
	Aブロック			Bブロック			Cブロック			計													
面積	0.37 HA			0.60 HA			0.45 HA			1.42 HA			0.53 HA			2.96 HA			摘要				
仕立本数	2本仕立			3本仕立			4本仕立						800本			4,500 ^{8,200} 本				摘要			
相当本数	1,119本			1,020本			1,029本						1,500本						摘要				
	本数	直径	樹高	本数	直径	樹高	本数	直径	樹高	本数	直径	樹高	本数	直径	樹高	本数	直径	樹高		本数	直径	樹高	摘要
クス	61	242	2.2	1.5	174	2.4	1.7	180	2.2	1.7	596	2.3	1.6	100	1.5	0.5	24	2.2	1.6				
	62		2.8	1.9		2.9	2.2		2.9	2.0		2.7	2.0		1.6	0.7		2.4	1.8				
	63		3.7	2.4		3.9	2.6		3.3	2.4		3.6	2.4		1.7	1.0		2.5	1.9				
	元		4.1	2.5		4.4	2.9		3.9	2.8		4.1	2.7		2.5	1.3		2.9	2.1				
	2		4.6	2.7		4.9	3.1		4.2	3.0		4.6	2.9		3.0	1.6		3.2	2.3				
タブ	61	92	2.4	2.0	135	2.7	1.9	106	2.5	1.7	333	2.5	1.9				41	2.2	1.6				
	62		3.5	2.1		3.5	2.4		3.5	2.3		3.5	2.3					2.6	1.8				
	63		5.0	2.6		4.7	2.9		3.9	2.6		4.5	2.8					3.3	2.2				
	元		5.1	2.7		5.3	3.2		4.3	2.8		4.8	2.9					3.8	2.4				
	2		5.3	3.0		5.5	3.4		4.9	3.0		5.2	3.1					4.0	2.6				
カシ・シイ	61	30	1.8	1.7	121	1.7	1.6	109	1.5	1.7	260	1.7	1.7				41	1.3	1.3				
	62		2.0	2.0		2.3	2.2		2.5	2.2		2.4	2.2					1.7	1.7				
	63		3.4	2.6		3.6	2.8		2.8	2.5		3.2	2.7					2.3	2.0				
	元		4.4	2.8		4.0	3.1		3.2	3.0		3.6	3.0					3.0	2.3				
	2		4.9	3.1		4.3	3.3		3.9	3.2		4.4	3.2					3.6	2.6				
サクラ	61	48	2.3	2.3	140	2.2	2.4	48	2.1	2.2	236	2.2	2.3				29	1.4	1.6				
	62		2.6	2.8		2.7	2.8		2.9	2.6		2.7	2.8					1.9	1.9				
	63		3.6	3.0		3.5	3.0		3.2	2.9		3.5	3.0					2.2	2.2				
	元		3.6	3.0		3.5	3.3		3.5	3.3		3.5	3.2					2.3	3.1				
	2		3.9	3.1		3.8	3.4		3.8	3.4		3.8	3.4					2.7	3.5				
広	61	2	1.7	1.2	42	2.0	1.8	20	1.4	1.3	64	1.7	1.4				12	1.2	1.0	イス・ツバキ ユズリハ・ ヤブニッケイ			
	62		4.1	2.1		3.0	2.7		2.8	2.1		2.9	2.5					1.7	1.6				
	63		4.7	2.8		4.2	3.0		3.6	2.7		4.0	2.9					2.1	2.1				
	元		4.9	3.8		4.4	3.1		4.1	3.0		4.2	3.1					2.7	2.7				
	2		5.1	4.0		4.9	3.3		4.5	3.3		4.8	3.5					3.0	3.0				
計	61	414	2.1	1.7	612	2.2	1.9	463	1.9	1.7	1489	2.1	1.8				147	1.7	1.4				
	62		2.6	2.1		2.9	2.4		2.9	2.2		2.8	2.2					2.1	1.8				
	63		3.9	2.5		4.2	2.8		3.3	2.6		3.8	2.6					2.5	2.1				
	元		4.3	2.6		4.3	3.1		3.8	2.9		4.1	2.9					3.0	2.5				
	2		4.8	3.2		4.7	3.3		4.3	3.2		4.6	3.2		3.0	1.6		3.3	2.8				

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

状 況 写 真

区 分	任意
-----	----

串 間 營 林 署

(様 式 6)



状 況 写 真

区 分 任意

申 間 営林署

(様 式 6)



状 況 写 真

区 分	任意
-----	----

串 間

営林署

(様 式 6)



状 況 写 真

区分 任意

串 間 営林署

(様 式 6)

